

9月12日「日立関連争議・日立共同要求提出争議団は日立製作所と和解協定を結んで日立争議が全面勝利したことを新聞で知りました。私たちは、最高裁で不当判決をだされた田中さんも勝利和解し、提訴していないが差別されていた人も差別是正の対象になり、男女差別争議も男女同一水準で賃金や職位を是正させたなど日立争議の全面勝利は、日本中の人達を励まし、厳しい職場で働く夫や子どもたちへの激励でもあり、大独占に挑んだ闘いのこの時期の勝利を心から喜び意義のあるものとして評価します。神奈川の日立争議団がはいっていなかったことは本当に残念です。

日立の男女差別争議では個人的に「日立の男女差別をなくす会」の会員になっていましたが、新婦人神奈川県本部は「同じなので神奈川の日立支援共闘会議に入ってほしい」と加盟の申し入れがあったとき、「労働争議一般の応援まではできないが、男女差別をやめさせる闘いは応援したい」「総会に出る程度の参加で」と、神奈川の日立支援共闘会議への加盟を了承しました。その後の総会にはできる限り参加してきましたが、闘いの大きな転機にあたって加盟団体も含めて相談する場はなかったと思います。

これまでも争議団の総行動や裁判傍聴、工場門前宣伝、工場への申し入れなど副会長はじめ事務局長や戸塚支部が応援してきました。昨年末、神奈川支援共闘と1都2県の団結が困難になっていると聞き、なんとか団結と統一の方向で進めてほしいとの願いから、「2000年日立男女差別の勝利をめざす春の集い」の実行委員会に参加し当日の1月29日も県本部専従が数名参加しました。

新婦人神奈川県本部は、「日立の男女差別をなくす会」の裁判を支援するために日立支援共闘会議に加盟した経過から、男女差別争議和解の大きな流れができたことで引き続き加盟している理由がなく、これ以上支援共闘会議の活動や決定に責任を負いかねると判断し、日立支援共闘会議を抜けることにしました。しかし、神奈川の男女差別で闘っている女性たちの一日も早い解決を願っています。

国民の願いとかけ離れた悪政のもと、私たちは要求実現と政治の革新めざす諸団体とともに草の根からの活動をひろげ、くらし、子ども、憲法・平和を守るために全力をあげていきたいと思ひます。

日立闘争神奈川支援共闘会議様

2000年10月13日

新日本婦人の会神奈川県本部

TEL NO:
FROM: